

京阪神地域実験の実施場所(1) 阪神高速道路

- 阪神高速道路の事故多発地点において、カーブ進入危険防止(三宅:6月末から実施中)、前方障害物情報提供(西出)、合流支援(柳原)を実施予定
- さらに、混雑状況を静止画で伝える前方状況情報提供(海老江、波除)を実施予定



○ 高速道路の路車協調システム

京阪神地域実験の実施場所(2) 名神高速道路・新名神高速道路

- 名神高速道路及び新名神高速道路において、名神高速道路と京滋バイパスの経路選択支援等を目的とした、前方状況情報提供(音声によるハイウェイラジオ情報)を実施予定
- 同時に既設VICISビーコンから簡易図形を提供し、音声情報を補完



名神経由では〇〇まで〇〇分、京滋BP経由では約〇〇分かっています。

阪神高速3号神戸線魚崎の先を頭に1キロほど渋滞しています。豊中インターまで20分ほど、中国道西宮北インターまで35分ほどかかります。

名神経由では〇〇まで〇〇分、京滋BP経由では約〇〇分かっています。

経路選択支援システム (ハイウェイラジオ)

経路選択支援システム (ハイウェイラジオ)

経路選択支援システム (ハイウェイラジオ)

○ 高速道路の路車協調システム

1. 場所

- ・ 山陽自動車道及び広島市内の一般道

2. 実験システム

(1) 一般道の路車協調システム (DSSS)

- ・ 追突防止支援システム
- ・ 右折時衝突防止支援システム
- ・ 左折時衝突防止支援システム
- ・ 出会い頭自転車衝突防止支援システム
- ・ 一時停止規制見落とし防止支援システム

(2) 山陽自動車道の路車協調システム (スマートウェイ)

- ・ 速度注意喚起システム

(3) 車車間通信システム (ASV)

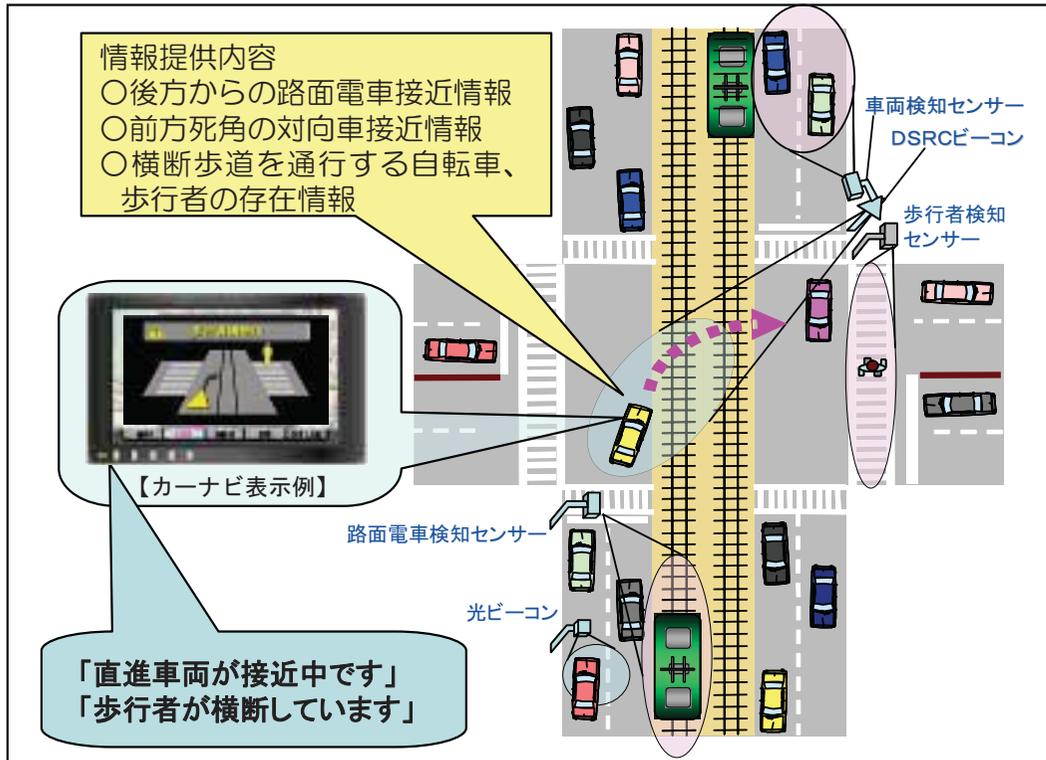
- ・ 追突防止システム
- ・ 出会い頭衝突防止システム
- ・ 右折時衝突防止システム

(4) 路車協調システムと車車間通信システムの連携システム (DSSS、ASV)

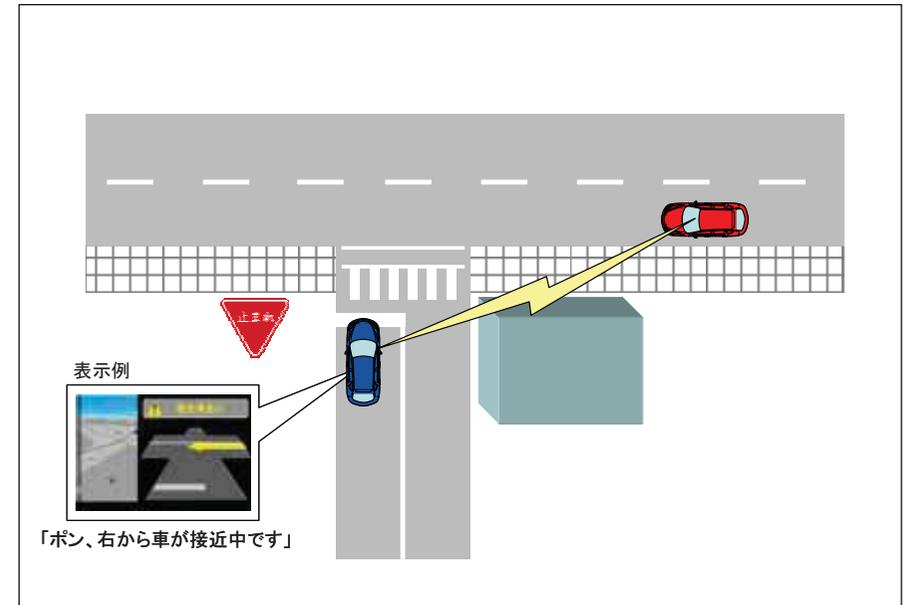
- ・ 出会い頭衝突防止システム

広島県実験のシステムのイメージ

＜右折時衝突防止システム(路車協調システム)のイメージ (DSSS)＞



＜出会い頭衝突防止システム(車車間通信システム)のイメージ (ASV)＞



＜速度注意喚起システム(路車協調システム)のイメージ (スマートウェイ)＞



広島県実験の実施場所(1) 一般道



広島県実験の実施場所(2) 山陽自動車道



情報通信システム共通実験の概要

実施内容：

安全運転支援システムで使用される700MHz帯や5.8GHz帯の電波を用いた無線通信システムについて、システム完成度の向上を目指した実験やシステム有効性の検証・評価をユビキタス特区(※)を活用し推進。

○ユビキタス特区を活用して民間事業者等が公道で実施する主な安全運転支援に関するプロジェクト

プロジェクト名	実施場所	利用周波数
①車車間通信による安全運転支援システム	北海道網走市	700MHz帯 5.8GHz帯
②路車間+車車間通信によるインフラ協調安全運転支援システム	茨城県つくば市 神奈川県横須賀市	700MHz帯 5.8GHz帯
③路車間+車車間通信によるインフラ協調安全運転支援システム	愛知県豊田市、 長久手町	5.8GHz帯
④車車間通信用周波数利用技術の実証	茨城県つくば市 神奈川県横須賀市	700MHz帯 5.8GHz帯

※ユビキタス特区：

ユビキタスネットワーク技術などを活用した新たなサービスの開発・実証プロジェクトを推進するための環境を整備した区域。

